

日報隠ぺい、虚偽答弁 防衛大臣に迫る。

稲田「隠ぺい」大臣は辞任せよ

南スーダンPKOの日報問題について、問題点は大きく二つあります。

一つ目は、稲田防衛大臣が「隠ぺいはありません」とよく調べないで断言答弁している点です。隠ぺいがあったか否かについては「特別防衛監察」でこれから徹底調査するのであり、隠ぺいがないと大臣が結論付けること自体、監察を歪めかねない根拠なき答弁です。本来、防衛大臣として正しい姿勢は、隠ぺいがあった

との事実関係を示し、組織としてウソをついたことについて謝罪し、再発防止措置を示すべきであり、そうしていれば、ここまで大きな問題にならなかったのです。

二つ目は、稲田防衛大臣がシベリアアンコントロール（文民統制）を失っている点です。自衛隊が独走しないよう、防衛大臣が自衛隊を統制することですが、陸上自衛隊が実は保存していた日報を隠ぺいするよう統合幕僚幹部が指示したという事実自体、防衛大臣の統制を失っており、

またこの報道が自衛隊制服組からNHKへの内部通報であるらしいことも、シベリアアンコントロールを失っている証左であります。実際に戦争になった場合のことを考えるとぞつといたします。

虚偽答弁を繰り返し、シベリアアンコントロールを失った稲田防衛大臣に対しては、世論調査でも約六割の国民が辞任すべきとしております。

私は、安全保障委員会の野党筆頭理事として、南スーダン問題を厳しく追及し、日本を守る体制を取り戻してまいります。



全ての責任を大臣がとるというのが
文民統制じゃないですか

2017.3.16 Nスタ(TBSテレビ)

ごとう祐一新聞記事